

広報

びがしゅわ

豊かな自然みんなで
拓く町 伸びる町

1988=10
No.403

昭和63年10月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- 体育の日特集
「生涯スポーツの勧め」
- 定例町議会
「62年度各会計決算を認定」
- 朴の木沢放牧場
3年ぶりに開牧
- 紙上・町内めぐり
- 大琴小礎石百一年・現校
舎落成十周年記念式挙行



▲交通事故死亡ゼロ七百日の達成を
記念し九月二十七日健康増進センタ
ーで交通安全町民大会が開かれまし
た（記事十二面）。写真は、ダミ
ー人形を使った交通事故の実験。

高瀬小学校創立5年記念式典

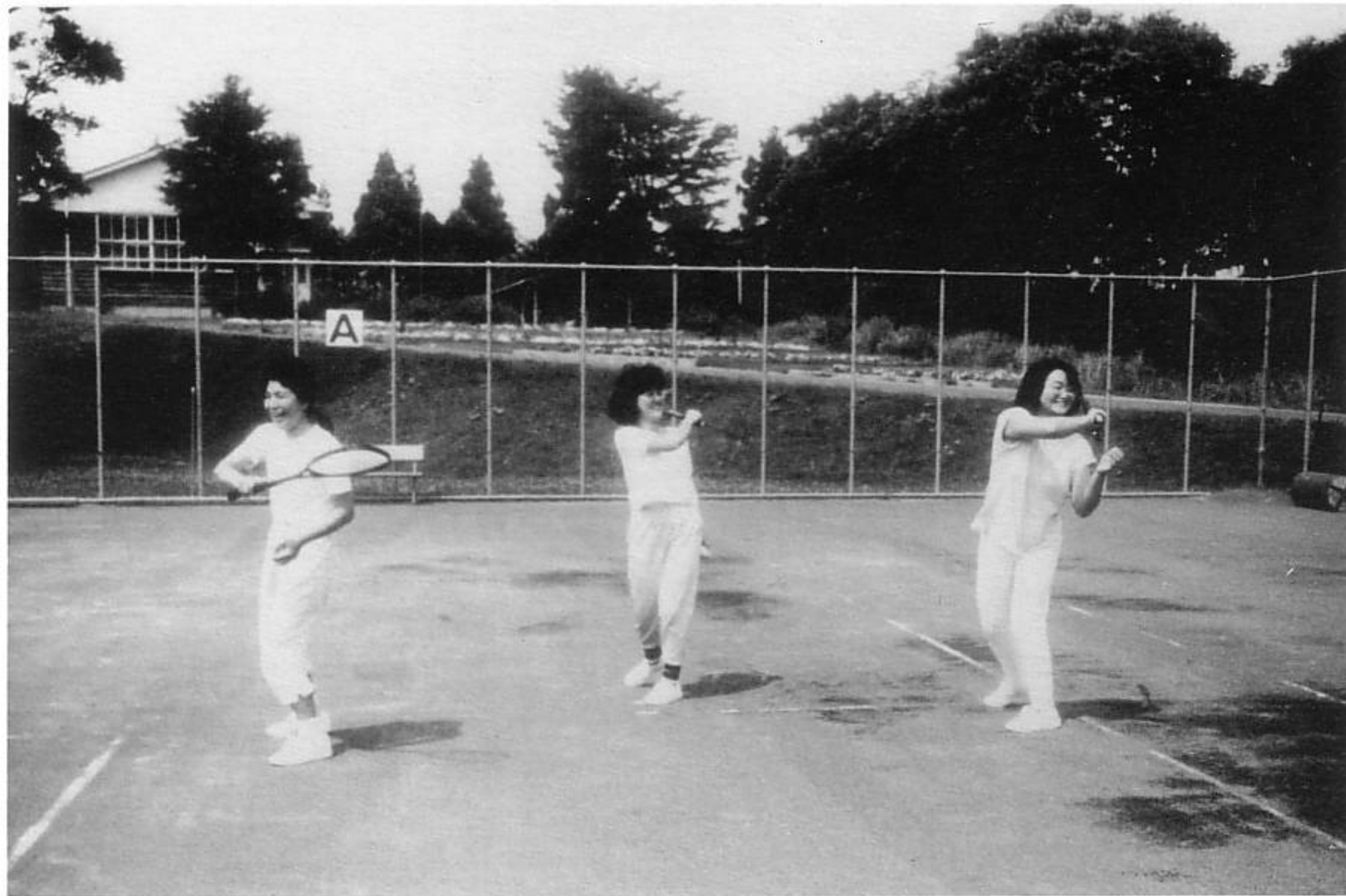


▲大琴小礎石百一年・現校舎落成十
周年記念式典が九月十一日、高瀬小
創立五年記念式典が九月十八日開
かれました（記事十、十一面）。写
真は大琴小学芸発表でのひとコマ。

▲朴の木沢放牧場が出羽丘陵開発事
業の完成などで三年ぶり、九月十二
日にオープンしました（記事七面）。



生
涯
ス
ポ
ー
ツ
の
勧
め



生涯を通じてスポーツを楽しもう

現在日本にどれくらいスポーツがあると思いますか。文部省が調べたところ、なんと三百三十八種目もありました。スポーツには「楽しみ」「気晴らし」はもとより、健康や体力の増進、ストレスの解消、仲間づくりや生きがいづくりなど、多くのメリットがあるといわれています。

十月十日は「体育の日」。そこで、生涯を通じてスポーツを楽しむことの意味について考えてみました。

余暇とスポーツ

体を動かし、

おもいつきり汗をかこう

昭和三十二年に行った総理府の世論調査に、「過去一年間になんらかのスポーツをしましたか」という質問があります。このとき「スポーツをした」と答えた人はわずか一四％にすぎませんでした。ところが、二十八年後の昭和六十年に同じ質問をしたところ、二十歳以上で「スポーツをした」と答えた人は六三％に増えていました。また、十五歳以上を対象とした「社会生活基本調査（総務庁）」では、「スポーツをした」と答えた人は七六・三％で、四人に三人はスポーツをしているというデータもあります。

こうした背景には週休二日制の普及や有給休暇の利用、スポーツ施設の増加など、スポーツを取り巻く環境の整備があげられます。また、国民一人一人が余暇を利用して積極的にスポーツをはじめたことも見逃せません。

このようにスポーツ人口が増えた背景には、次にあげるような、人々の意識の変化があります。

- ① スポーツを通じて、生活に充実感や生きがい、心の張りを見つけたいと考える人が増えた。
- ② 体力を維持、増進しようという意識が強まった。
- ③ 長寿社会に向けた健康づくりを意識しはじめた。

これらを実証するように、最近では早朝のジョギングやラジオ体操、仕事帰りのジャズダンスや水泳、週末の草野球やゴルフなどがますます盛んになっています。

運動と消費エネルギー

〔資料〕厚生省

運動の種類	100 Kcalの消費に必要な時間(分)	
	男性(体重63kgの場合)	女性(体重52kgの場合)
軽い運動 歩行(買物、散歩) 日本舞踊 バレーボール(9人制) ゲートボール ラジオ体操	25 5 60 27 28 28 29 34	33 5 67 35 35 36 37 44
中等度の運動 急ぎ足(通勤、買物) 野球 ゴルフ(平地、18ホール) キャッチボール バレーボール テレビ体操 サイクリング(10km/時) エアロビックスダンス ハイキング スキー ピンポン ゴルフ(丘陵、27ホール)	14 5 25 17 5 33 15 15 16 18 18 19 21 22 22 23 23 19	17 5 33 19 20 21 22 23 25 26 27 28 29 31 25
強い運動 クロスカントリースキー バドミントン ジョギング(120m/分) 登山 柔道、剣道 サッカー、バスケットボール 水泳(遠泳) 縄とび(60~70回/分) ジョギング(160m/分) ジョギング(200m/分)	7 9 9 10 11 12 13 13 13 14 14	9 11 12 13 14 15 16 16 16 16 17

(注) 20~29歳で同じ運動の強度は男女同等とみて、男子の体重63kg、女子の体重52kgと大略の消費エネルギー値と100kcal消費するのに要する時間を計算した。

生涯学習とスポーツ

長く続けられる

生涯の友をさがそう

わたしたちがスポーツを長く続けていくためには次の五つの項目が必要だといわれています。

- 身近でできる。
- 適度な運動量がある。
- だれでも平等に親しめる。
- レベルにあわせて競い合える。
- 意外性がある。

しかし、何よりも大切なのは、「スポーツそのものを楽しむ」ことです。競技スポーツであれば、高度なテクニックやかけひきが勝敗の決め手につながることも少なくありません。しかし、スポーツを競技としてでなく、「生涯の友

という形で続けるのであれば、「技」や「勝ち負け」よりも、スポーツに没頭し、汗を流すことそれ自体に意義があるといえます。

さて、スポーツ人口の増加に伴い、スポーツ施設も年々増えてきています。昭和四十四年に全国で十五万カ所だったスポーツ施設は、昭和六十年になると二倍近くの二十九万カ所に増えました。本町でも昨年健康増進センターとナイター設備のテニスコートができ、その気になればいつでもスポーツができるようになりました。

また、近年「社会体育指導者資格制度」ができ、スポーツ環境の整備が一段と進められています。スポーツ施設や制度を利用することは、後に続く人たち、ひいてはスポーツ振興そのものに大きな役割を果たすことにもなります。

高齢化社会とスポーツ

人生の円熟期に

仲間をつくろう

年をとると体を動かすことがおっくうになりがちです。そのため、家から出ることが少なくなり、孤独になる傾向があります。そこで勧めたいのが、スポーツへの参加です。「いまさら運動なんて」、「慣れないことはしたくない」などと言わずに、自分にできそうなスポーツを見つけてください。年をとっても適度なスポーツを続けることは、自然に足腰を動かすことになるので、楽しみながら体力維持ができます。また、手足を動かしながら頭も使うので、ボケの予防にもなるのです。さらに、お

年寄りのスポーツサークルへ加入すれば、同世代の人々との交流が図れます。

仲間たちとスポーツができる

一つの事例をあげてみます。あるお年寄りがゲートボールのサークルに入っています。ゲートボールそれ自体を楽しんでいるようですが、何よりもずっと続けたいという理由は、「そこに行けば仲間に出会える」ということだそうです。そして、楽しみながらスポーツをやるのが、人生円熟期の生きがいになっているのだと思われます。

いま、人生は八十年時代です。健康づくり、体力維持、生きがいづくりなど、きつかけはなんでもいいと思います。なにか一つでも生涯を通して続けられるスポーツをしてみませんか。

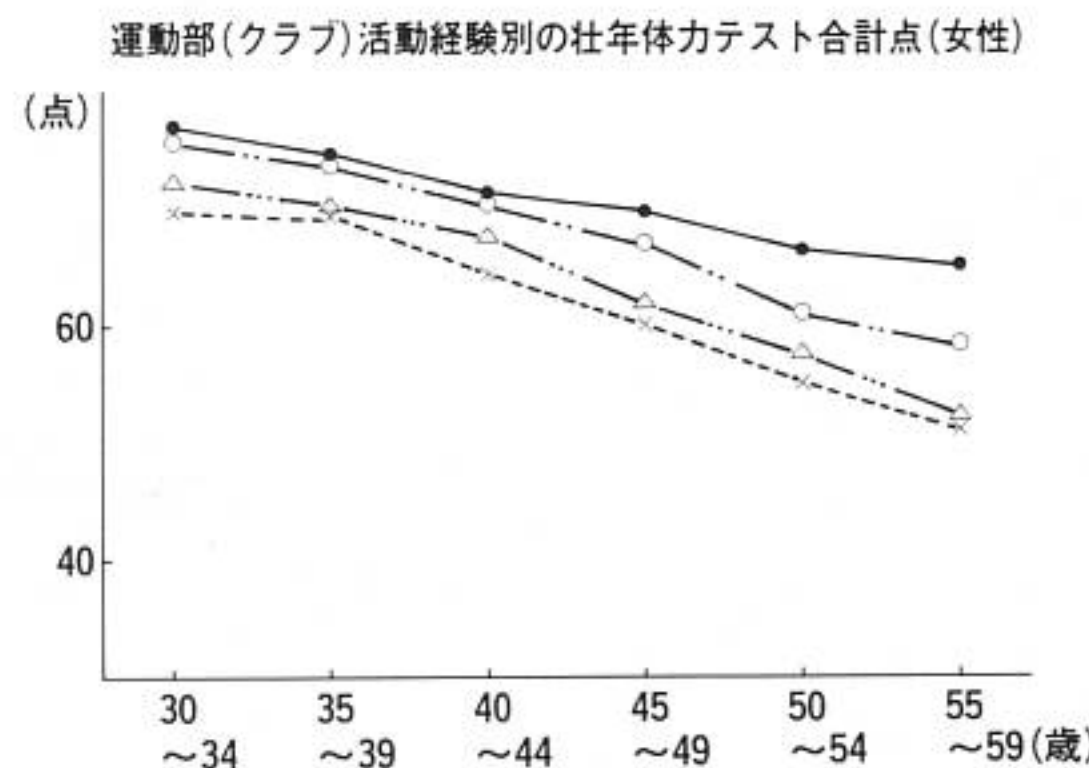
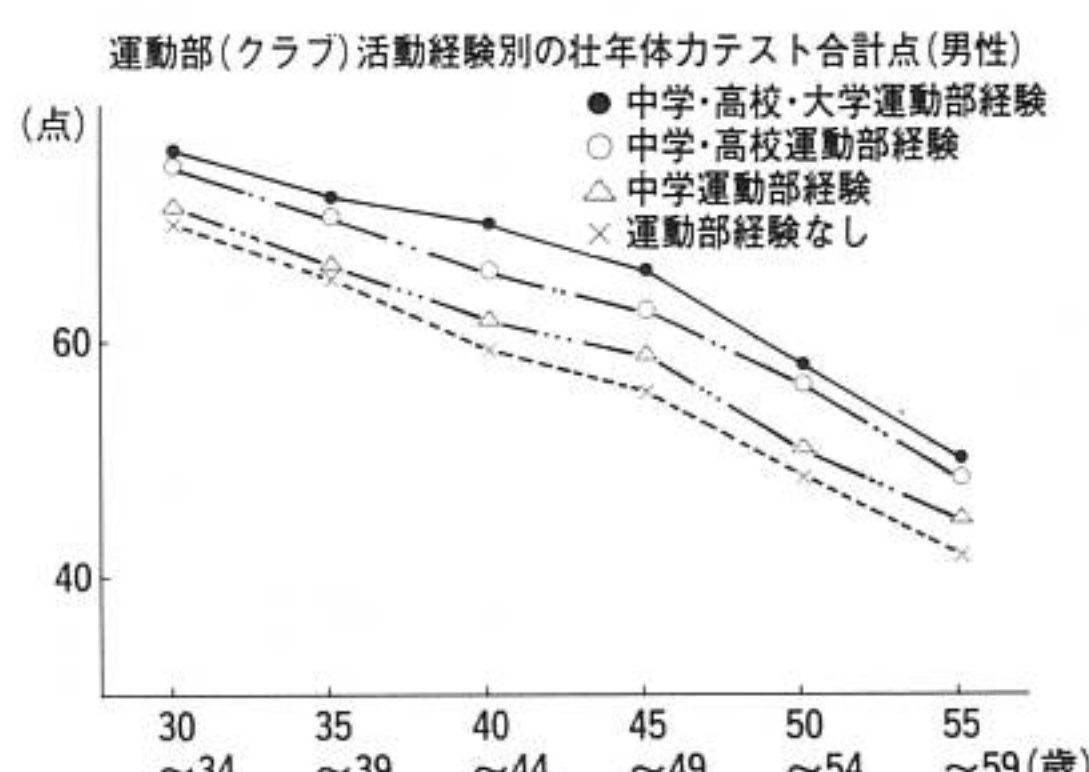
■体力維持とスポーツ■ あなたは十歳若返る!?

日本人の総合的な体力のピークは、男女とも十七歳から十八歳というデータがあります。このピークを迎える前後の時期に、スポーツに励み、体力の増強につとめれば、標準の体力ピークを上回り、同じ十七歳でも持久力や瞬発力などに大きなひらきがでてきます。また、鍛えた人の体力のピークは、スポーツをしなかつた人よりも高いので、

同じように年をとっていったとしても、スポーツをしなかつた人の体力を常に上回るようになります。(図参照)。

また、三十歳以上の壮年体力テストの結果によると、五十九歳の人の体力は、合計点でみると三十歳の人の半分以下になるというデータがあります。しかし、三十歳からでも週三〜四日以上、適度な運動をすれば、体力維持につながります。もし長年こうした運動を続けていけば、年齢は五十九歳でも、肉体は十歳以上も若く保てる

ことが分かっています。このほか週一〜二回の運動や月一〜二回の運動でも、続けてやっていたら、運動をしない同じ年の人よりは、体力が四〜五歳若いというデータもあります。企業によっては、定年前に体力テストを行い、体力年齢が若いと定年を延ばすところもあると聞きます。



今後伸びるスポーツの分野ベストテン

〈資料〉(財)余暇開発センター

(男性)	種目	成長指数	(女性)	種目	成長指数
第1位	サーフィン・ヨット・スキダイビング	320	第1位	ゴルフ(グリーン)	531
2	ゲートボール	213	2	ゲートボール	327
3	スキー	168	3	エアロビクス・ジャズダンス	219
4	キャンプ・登山	167	4	スキー	216
5	ゴルフ(グリーン)	165	5	ゴルフ(練習場)	183
6	テニス	133	6	テニス	165
7	柔道・剣道・空手	120	7	キャンプ・登山	142
8	釣り	112	8	アイススケート	139
9	ゴルフ(練習場)	109	9	美容体操	123
10	アイススケート	104	10	水泳(プールでの)	121

・成長指数＝参加希望率÷参加率×100
・参加率：昭和61年に1回以上行った人の割合
・参加希望率：将来やってみたい、あるいは今後とも続けたい人の割合



62年度各会計決算を認定

九月定例町議会が九月十四日から九日の会期で開かれ、町長の行政報告、一般質問のあと、昭和六十二年各会計決算認定案、昭和六十三年一般会計補正予算案、町奨学資金貸付基金条例の一部改正案など十二議案を審議、いずれも原案通り可決し閉会しました。

たいと考えています。

出稼ぎをやめて花き栽培に取り組んだ青年、バラ栽培の準備に入った青年、ワラビやタラの芽の栽培に取り組みうとする動きなど、新しい農業への挑戦が始まっており、この芽を育てていくとともに、女子や高齢者でも可能な栽培農業をはじめ、牛の飼育などを大いに奨励して

5氏が町長の考えただす

一般質問

一般質問は五氏が、農政問題や道路整備など十二項目について畠山町長の考えをただしました。質問と町長答弁の一部は次の通りです。

◇ ◇ ◇

問 県では農家一戸当り五十戸百戸規模の形成を指導方針にしているといるが、そうすることにより本町農家の余剰労働力をどのように方向づけるのか。

答 県の示した面積は国の施策に基づく理想的な専業農家の経営規模をさしたものであり、本町の事態とはかけはなれたものです。町では現在稲作プラス畜産の複合経営を中心に、農外収入を得るための具体的な取り組みが必要との考えの基に農政を進めており、農業近代化に伴う農家の余剰労働力の吸収に全力を上げているところで

整備が指摘された県道羽後向田館合線(写真・智者鶴地内)



問 町民グラウンドの整備計画はどの程度進められているか。

答 当初予算に調査費を計上し台山グラウンドをはじめ検討を進めているところ。台山グラウンドについては、できれば来年度には整備したいと考えて現在基本構想をまとめているところ。これと関連させ町民グラウンドも総合的な整備構想をたて、具体的な構想が整い次第議会との協議を計る

問 県道羽後向田館合線の杉刈り羽後町境界間の整備計画は。

答 同線・旧住吉小学校前の用地補償問題が解決し、来年度整備されることになりました。ご指摘の区間については地域住民に不便をかけているところであり、今後引き続き議会と地域住民の協力を得ながら、整備促進を県に強く陳情していきます。

問 八塩山周辺の観光開発計画の中で、山岳スポーツ基地を取り入れる考えはないか。

答 道路整備をはじめ将来構想の基に現在各事業を進めています。ご提案は傾聴に値するものであり、民間サイドの盛り上がりや大いに期待するところです。具体的構想については条件整備を整え町民の知恵を借りながら進めたいと考えます。

問 冬期農業導入の考えは。

考えです。

工事が進む八塩ダム一周道路

いきたいと思います。

問 国民健康保険(国保)事業特別会計が黒字の中にあり、保険税引き下げの考えは。

答 保険税は、過去三カ年間の実績をもとにして当該年度の医療実績などを見込み、それに対する国庫支出金などを歳入で見込んだ不足分、算定されます。今年度はこの保険税が一人当り前年度比十

「出羽丘陵開発事業を進めていた町営朴の木沢放牧場が完成し、九月十二日オープンした。育成期に丈夫な牛を育て、経営の安定に役立つことを大いに期待している。また、火葬炉の老朽化に伴い、火葬場の改築を来年度に計画している」などのほか、町政の現況などを次のように報告しました(概要のみ)。



転作▼目標面積二百四十六畝に対し実施面積は二百六十・五七畝で、一〇五・九の達成率となった。

出羽丘陵開発事業▼八月末までの工事進捗率は七三・五と順調。完工式は十月二十六日に行う予定。

子牛市場▼四月以降九月まで六カ月間の上場頭数は四百六十九頭で、一頭当り平均四十三万六千円の高値で取り引きされている。

肉用牛増頭対策事業▼今年度すでに二十頭に奨励金を交付。

道路整備▼国道一〇七号線宿区並びに奥ヶ沢工区▽四億七千七百万円余で発注。現在根城橋、幅野橋の架橋工事が予定通り進捗。

県道檜瀨横渡線▽同横渡地内

火葬場の改築関係費など 総額一億三千万円を補正

今議会には、火葬場の老朽化などに伴う火葬場改築関係費や農道整備費の追加などを組み込んだ昭和六十三年度一般会計補正予算案、町奨学資金貸付基金条例の一部改正案など、十二案件が提案され、いずれも原案通り可決しました。主なものは次の通りです。なお昭和六十二年度一般会計の決算の状況は六面に掲載しました。

昭和六十三年度一般会計補正予算
歳入及び歳出予算にそれぞれ一億二千六百二十七万一千円を追加、



改築が決まった町営火葬場

- 同予算の総額は二十六億六千七百七十万四千六百六十六円
- 主な内訳は
 - ▽農道整備費千四百四十五万円
 - ▽農村総合整備モデル事業費（計画設計委託料など減額）千九百九十九万五千円
 - ▽総合開発センター費（玄関屋根補修工事など）二百五十三万円
 - ▽道路橋梁費（道路台帳補正業務委託料など）八百二十二万円
 - ▽道路維持費（用地購入など）四百九十八万円
 - ▽道路新設改良費（用地購入費など）六百八十一万円
 - ▽河川総務費（ボーリング調査委託料など）九百七十万円
 - ▽農業用施設災害復旧費（工事請負費など）六百九十二万円
 - ▽道路橋梁災害復旧費（同）五千二百五十九万円
 - ▽河川災害復旧費（同）千六百四十一万円
 - 町奨学資金貸付基金条例の一部を改正▼同基金の総額を五百万円から六百五十万円に引き上げた。
 - 教育委員会委員の任命に同意▼任期満了に伴い小松昌樹氏（八日町・65歳）を再任することに同意した。

定例町議会最終日小松鉄郎総務財政常任委員長が、付託されていた昭和六十二年度各会計歳入歳出決算の審査結果について報告しました。

この中で小松委員長は、「老方館の建設を除いて特に大きな事業はなかったが、建設、福祉、農業振興対策などの継続的事業に加え、新たな企画によるきめ細かな施策が行われ、行政効果を上げていくことを評価する。しかし、激変する中でのこれらの町政は、慎重にして勇断なる取り組みが必要であり、町民の付託に応えられるよう要望す

る」と意見を述べ、各会計の決算を原案通り認定しました。このほか、各常任委員会から次のような要望事項が出されました。

- サイレンは緊急時にまちまちであり、管理の一元化を図るべきである。
- 産業建設常任委員会
出稼反省会の参加者が少ない

慎重にして勇断の町政を

総務財政委員長決算審査を報告

- 有鄰館の使用にあたり、天候と集会の内容によつては自然採光を図るべきである。
- 町水道事業担当職員を早期に補充すべきである。

- 時勢的にも、玉米財産区の解散を検討すべきである。
- 総務財政常任委員会
地籍調査事業は、体制の強化を図り完了計画が短縮されるよう努力されたい。また、完了地への課税は公平の確保に努めるべきである。
- 森林組合が事業主体の林産物処理加工施設に町が助成しているが、自立運営されるよう強力な行政指導を望む。
- 廃棄物により河川に汚れが目立つが、道路清掃行事などで河川の清掃も行い、環境浄化の意識高揚に努めるべきである。

納税は納期内に…

督促状が少ないほど
報償金は高額になる

町では毎年「納税報償金」を自治会ごとに交付していますが、この金額の算出根拠は、各納期内納税者の多少の割合によつて計算されます。つまり、督促状が少なければ率が上がり、報償金が多くなるのです。ぜひ納税は納期内に完納し、有利な報償金を受けられるよう、協力し合いたいものです。

の改良工事は千八百五十五万二千円で予定通り進捗。
県道山崎鴻屋十文字線▽松沢（羽後町（町境界）間のうち五百八十メートルを第四種特殊改良工事として三千四百四十万円で発注。残り七百二十メートルは来年度に施工予定。
町道高村線▽地滑り箇所を十一月二十日までの工期で現在工事中であり、早期完工を県に強く要望中。（以下道路関係については来月の広報でお知らせします）
館合地区農村集落多目的共同利用施設▼来年度建設の予定で現在基本設計の準備を進めている。地域住民の意向を十分くみながら設計に反映していきたい。

「畜産の町東由利」の真価を発揮 2頭が秋田県一に

第七十七回秋田県畜産共進会で、秋田県一に輝き優勝旗が授与された。本町で一度に二本の優勝旗を獲得したのは初めてのことで、関係者は喜びを大きくしています。

秋田県一に輝き優勝旗が授与されたもので、肉用牛の部には百十頭、乳用牛の部には四十三頭が出品され、体型や資質などを競い合いました。



畑山 藤作さん



畑山 克司さん

同共進会は九月四日から三日間、河辺郡河辺町の県中央家畜市場で、県内各地区から選り抜かれた高水準の牛や豚などが勢揃いして開かれました。

本町から出品した牛は由利畜産共進会で上位に入賞した肉用牛五頭、乳用牛四頭で、秋田県一に輝いた二頭のほか乳用牛・ジャージー種経産・二十四ヵ月の部で畑山克司さん（島）の「ワイロー・ロマン・ミルキー・ソフィア号」が一等賞を受賞、畜産の町東由利の真価を発揮しました。

同共進会での優等賞の受賞は、畑山藤作さんが初、畑山克司さんが四回目の受賞となっています。

3年開牧

町営朴の木沢放牧場が三年ぶりに開牧しました。出羽丘陵開発事業による草地造成などのため昭和六十一年から閉鎖されていたもので、昨秋草地造成を完了、今年八月に牛舎と管理棟の建設を完成し九月十二日から放

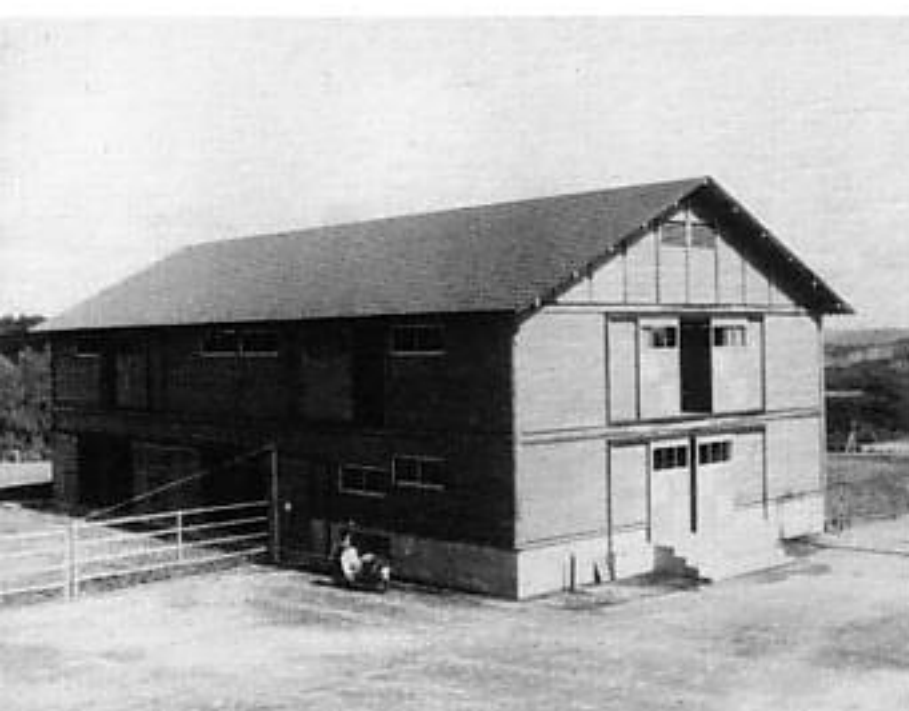
牧ができるようになったものです。牛舎は木造二階建（延床面積約四〇〇平方メートル）で、三十頭の牛が収容でき、約三十トンの乾草が二階に収納できます。また管理棟は木造一部二階建（延床面積約一六二平方メートル）で、トラクターなどの格納庫、管理人室のほか、二階には二十四畳の和室が設けられ多目的に利用することができます。

開牧と同時に、放牧場には町内畜産農家から二十八頭の牛が預けられ、牛たちは緑に覆われた広い草地を元気よくかけまわり、おいし

い草を口にしていました。

◇ ◇ ◇

朴の木沢放牧場は、良質の粗飼料と運動を与え良い繁殖牛を育てようと昭和三十六年に設置された

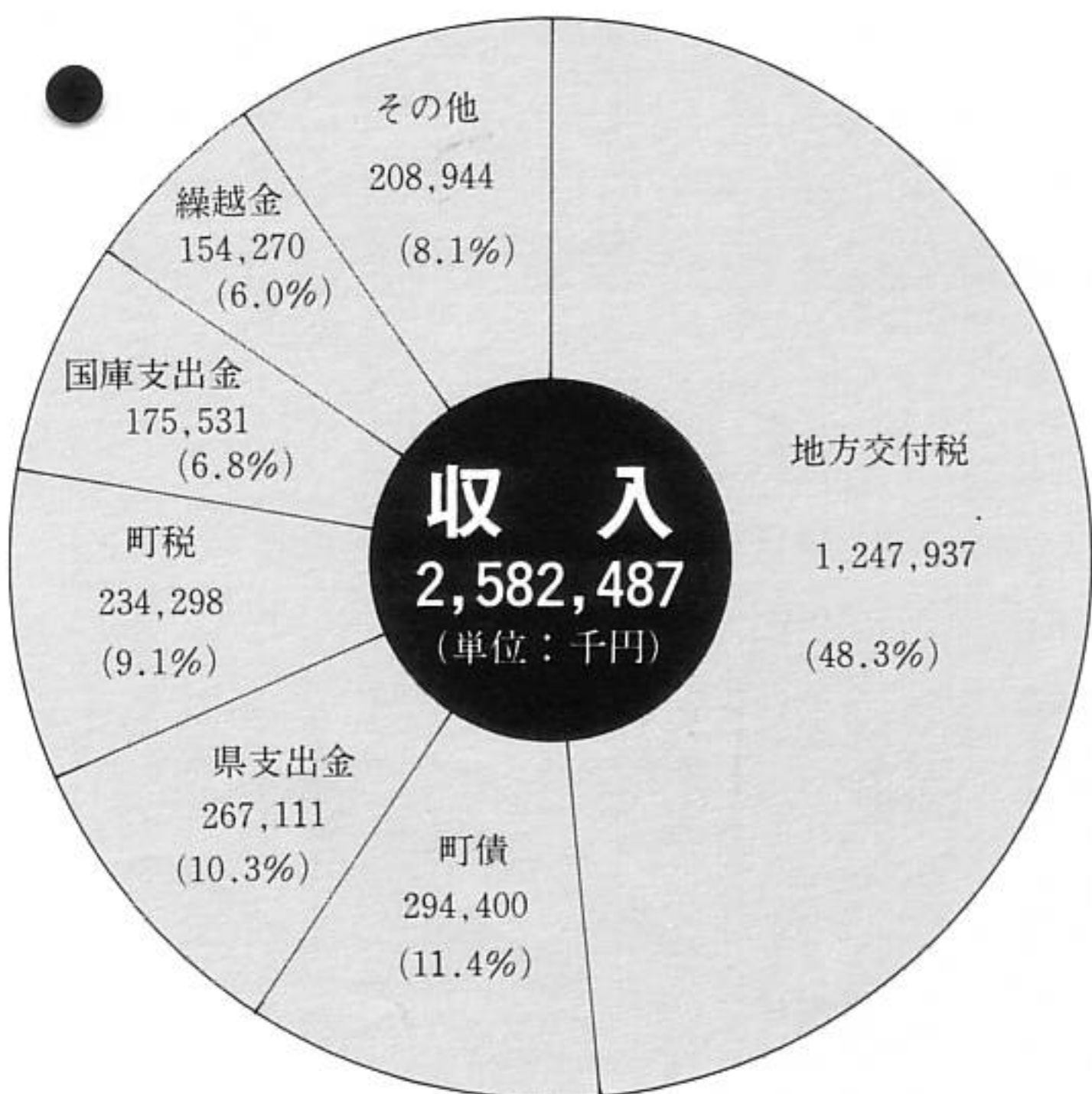


30頭が収容できる牛舎

2億円の黒字決算 昭和62年度一般会計決算書から

昭和六十二年度各会計の決算が町議会九月定例会で認定されました。町づくりの根幹をなす一般会計では、老方館の建設や道路の新設、改良、舗装などを主として約二十四億円を支出。これに対して収入では国・県の補助金等の確保に努めた結果約二十六億円となり、約二億円の黒字決算となりました。

収入で最も多い地方交付税は前年度より約二割上回る全体の約四十八億となりました。また支出で最も大きいのは全体の二四割を占める農林水産業費で、主に農道・林道・集落道や流雪溝の整備、健康増進センターの外溝工事や暖房設備など住み良い町づくりに使われました。以下、収入と支出の内訳を多い順に円グラフにしてみました。



朴の木沢放牧場

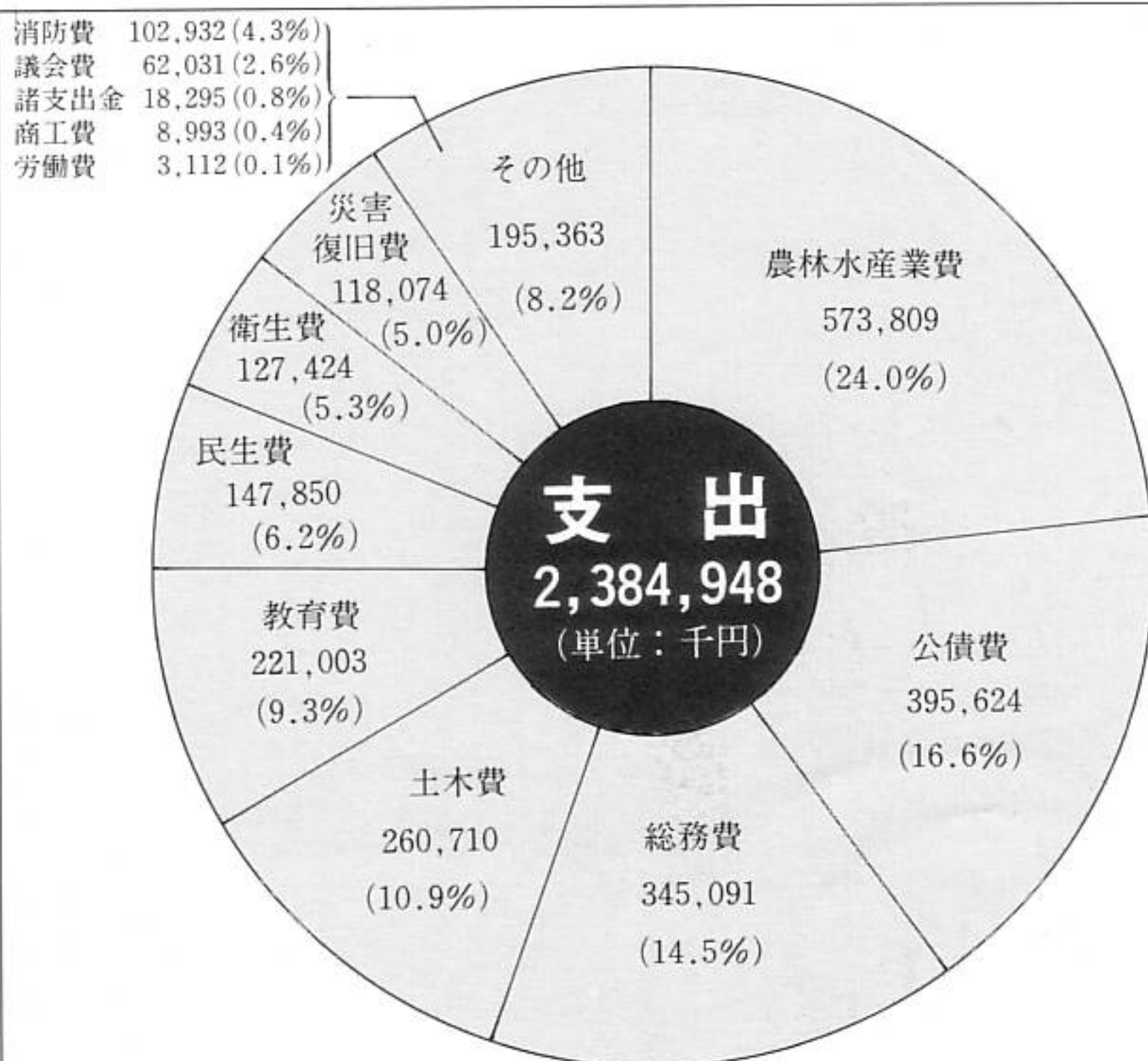


9月12日に開牧した朴の木沢放牧場



多目的に利用できる管理棟

もので、利用期間は五月中旬から十月下旬までとなっています。同放牧場の完成で、今後良質の肉・乳用牛の生産が拡大され、本町畜産の振興に大きく寄与するものと、関係者は期待を大きくしています。



新しい農村づくりに思うこと

町長
随想

町長 畠山 亮二朗

転作農業が二年目の秋を迎えた。水田農業確立対策は、「減反分に転作し、収入を得よ」というが、米づくりの意識転換は、言うに易く行い難いのが実態。一転作に頭を抱えている農家がそのほとんどと言っている。いまから十七年前の昭和四十六年にできた法律により、農村に生きる方策としての農村地域への工業導入がうたわれ、農工一体の町づくりの道が開かれた。新しい農村づくりへの大きな夢とともに期待も大きかった。

それから十七年の歳月が流れた。この間この町村も企業誘致にしのぎをけずり、できない首長は無能呼ばわりのそしりをうけた。だが多くの農村が期待通りに進まな

かったのが実情だった。今また日本農業は新しい局面を迎え、水田農業確立対策が進められる一方で再び工業導入が強く呼ばれている。いま農村に何が必要か。それは、

言うまでもなく、収入源の確保、就労の場の確保である。国ではこのことを踏まえ、農村への就労の場の確保とあわせ、農村地域の環境整備、さらには農業構造の改善

出しやすい環境づくりと、若者のニーズに合わせた住み良い町づくりを急がなければならないことは当然である。例えば、地域医療、教育環境、道路整備、生活環境、私は、「出羽丘陵の自然と調和したテデル農村づくり」を標榜し、いま意欲的に町づくりに取り組んでいる。国勢調査の統計によると、わが町の就業者比率は五六・四で全県第三位、労働力率は七〇・三で第四位である。ともに全県上位の位置を占め、働いている人の多い町ということになる。でも、これに満足してはいけない。なぜなら第二次、第三次産業への就業率の高い農村が、今後の理想とされるからである。

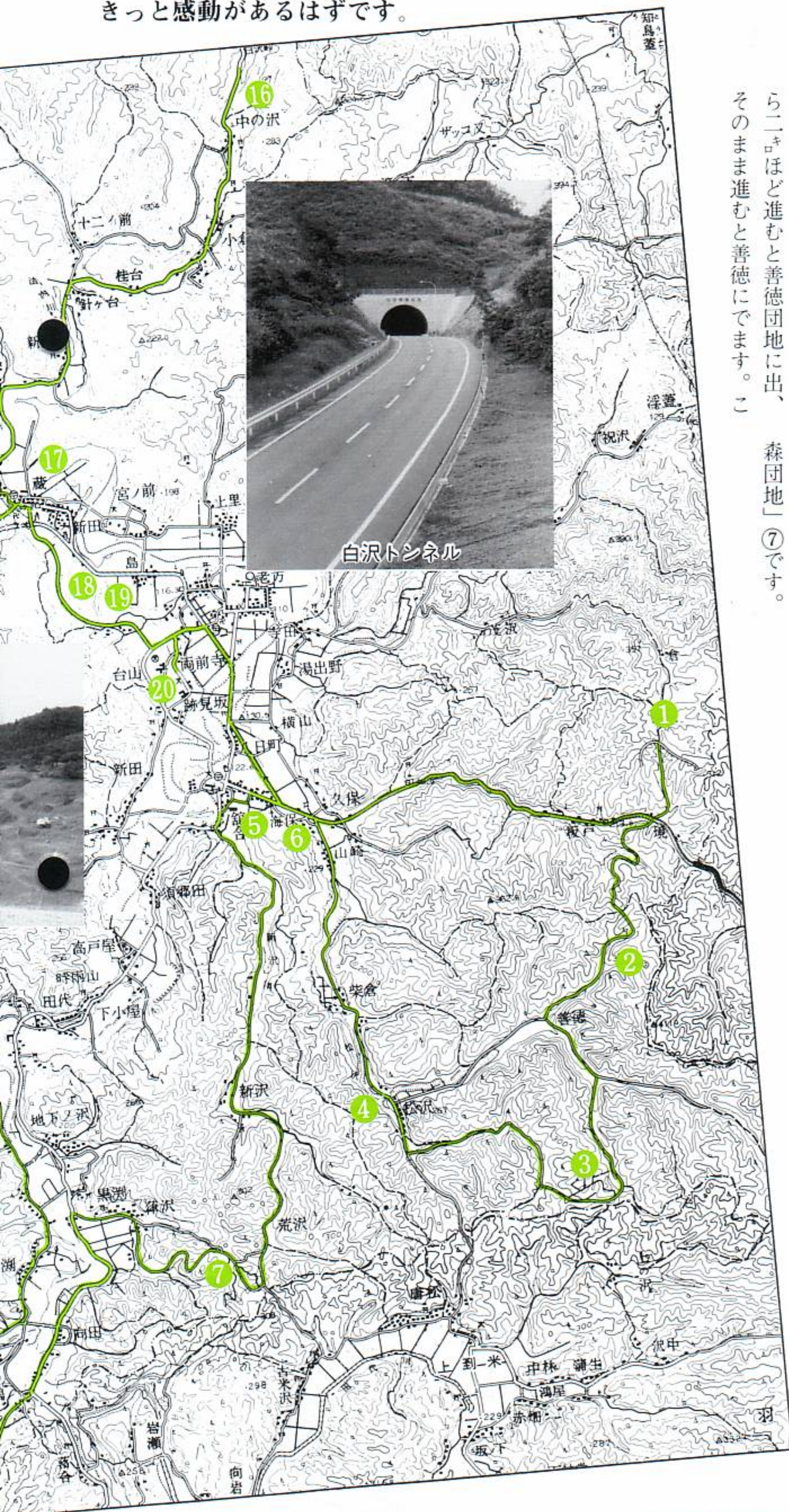
紙上・町内めぐり

の道路事情を一変させています。

そこで「広報ひがしゆり」では、出羽丘陵開発事業が間もなく完成することにちなんで、「紙上・町内めぐり」を企画しました。この紙面をたよりに、この秋、ぜひお出かけください。そこにはきっと感動があるはずです。



板戸団地



町内めぐりのスタート地点は、台山の公民館前です。

まず最初は、出羽丘陵開発事業でつくられた「板戸団地」①へ向かいます。国道一〇七号線を横手方面に走り、板戸地内にある公衆電話ボックスから左に曲がってください。一きほど進むと、同事業で最大規模を誇る板戸団地に出ます。晴れた日、ここからの鳥海山の眺めは格別です。

次は「善徳団地」②と「松沢たばこ団地」③に向かいます。国道まで戻り、そのまま前方の道路に進んでください。観光道路を思わせる道路を紅葉の景色を望みながら二きほど進むと善徳団地に出、そのまま進むと善徳にでます。こ

これから左に二きほど進むと右手が松沢たばこ団地です。

ここをそのまま進んで松沢に出ます（約百メートルの区間を工事中）。同地内左手にあるのが「松沢浄水場」④です。同浄水場前の建物は松柴地区研修集会施設です。

松沢から再び国道に出て、館合方面に進みます。五海保を過ぎてから左に入ると、一昨年完成した「みどり保育園」⑤が見えてきます。右手の空き地は「館合多目的集会施設」⑥の建設予定地です。宇戸坂に出て新沢方面に進みます。三きほど進むと分れ道があり、直進すると羽後町、右に進むと「大森団地」⑦です。

同団地からそのまま葎沢、黒瀨へと進み県道を左折、向田、智者鶴へと向かいます。智者鶴の智者鶴橋を渡り左折、百メートル先を右折します。そのまま一きほど進むと「周知谷治団地」⑧です。

そのまま進んで「ボツメキ水源池」⑨へ向かいます。ここはナベッコ遠足には最適の場所で、シーズンには大勢の人が訪れます。きのこも豊富です。

次は、先ごろ開放した「朴の木沢放牧場」及び「朴の木沢団地」⑩へ進みます。ボツメキをそのまま下り、十字路を左折、泡の淵を経て石高へと進み、石高の手前か



ボツメキ水源池

出羽丘陵開発事業完成・特別企画

行楽の秋到来…。ナベッコ遠足、ピクニック、ドライブなど…なにかと忙しいこの秋…あなたはどんな計画をたてていますか。

さて、観光地への遠出も結構ですが、「町内を車でまわってみる」というのはいかがでしょうか。いま町内は道路整備が進み、これまで行くことのできなかった所へも、車で行くことができます。とくに、出羽丘陵開発事業による道路の新設、改良はめざましく、町内



善徳団地から望む鳥海山

ここからそのまま一キロほど下って左折、「八塩ダム」及び「町民いこいの森」⑫へと向かいます。途中左手では、ダム一周道路の建設工事が行われています。八塩ダムから石高方面に下り、石高の手前を左折、大吹川、須郷へと向かいます。途中少し砂利道を走ります。須郷から高屋に向かい、高屋手前から左折、今年出羽丘陵開発事業で完成したばかりの道路を進むと「沼団地」⑬に出ます。そのまま沼に進み、杉森を通つ

て国道に出ます。右折して大琴まで進み、東由利農協大琴支所付近の十字路を左折、広域基幹農道根小屋線を進みます。そのまま五キロほど進むと、「大台高原」及び「大台団地」⑭です。小休止し、眺望をお楽しみ下さい。高原道路をそのまま大内町方面に進み、境界を右折、若林へ下ります。ここには「若林の湯」⑮があり、入浴ができます（ちなみに入浴料は大人百五十円）。若林から黒沢を通り旧国道に出ます。これを左折し蔵に入り再び左折、法内方面へと向かいます。四キロほど進むと昨年開通した「白沢トンネル」⑯に着きます。トンネルの真ん中が境界となっており、大森町坂部はトンネルを抜けてすぐです。

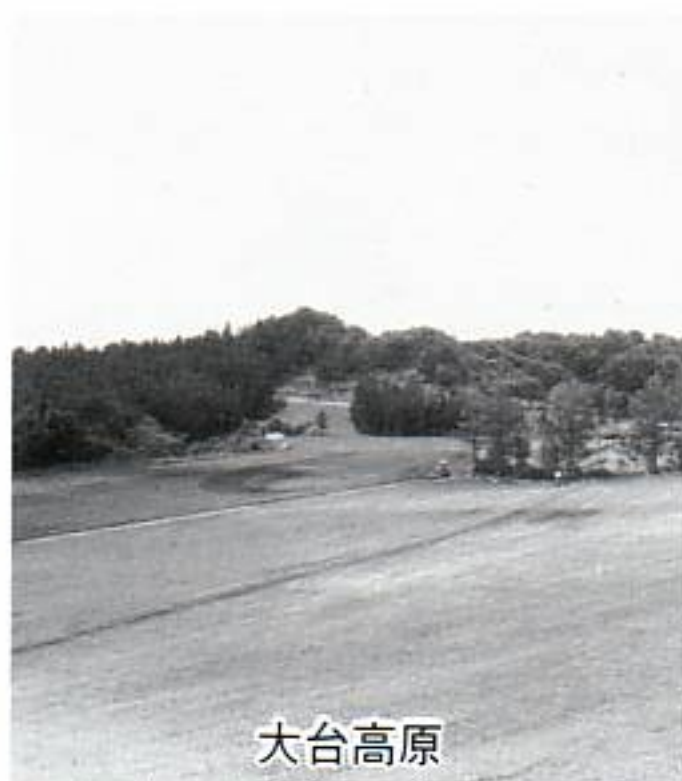
ユーターンして再び蔵に進み、信号機を左に進むと「特別養護老人ホーム東光苑」⑰です。現在五十人が入居、うち町内の入居者は三十三人となっています。信号機まで戻り左折、二十分先を右折し西山線へと進みます。同線は先ごろ全線の舗装が完成しました。途中左手に「畜産広場」⑱、「育苗センター」⑲などを望んで進みます。町内めぐりの終点は台山です。西山線からライオンセンターに出て左折、「健康増進センター」及び「テニスコート」⑳へと向かいます。ここで、テニスなどに心地良い汗を流してみたいかがでしょうか。さてこの町内めぐりコース、距離は約百十キロ、所要時間は約三時間です（休憩時間含めず）。お弁当またはナベッコの準備をして午前中から、または、お昼ご飯を済

ら左折します。一・五キロほど進んで左折すると朴の木沢放牧場、朴の木沢団地です。ここをそのまま進むと、左手に「八塩山登山道入口」⑪があり、す。頂上へは四十分～六十分で登れます。

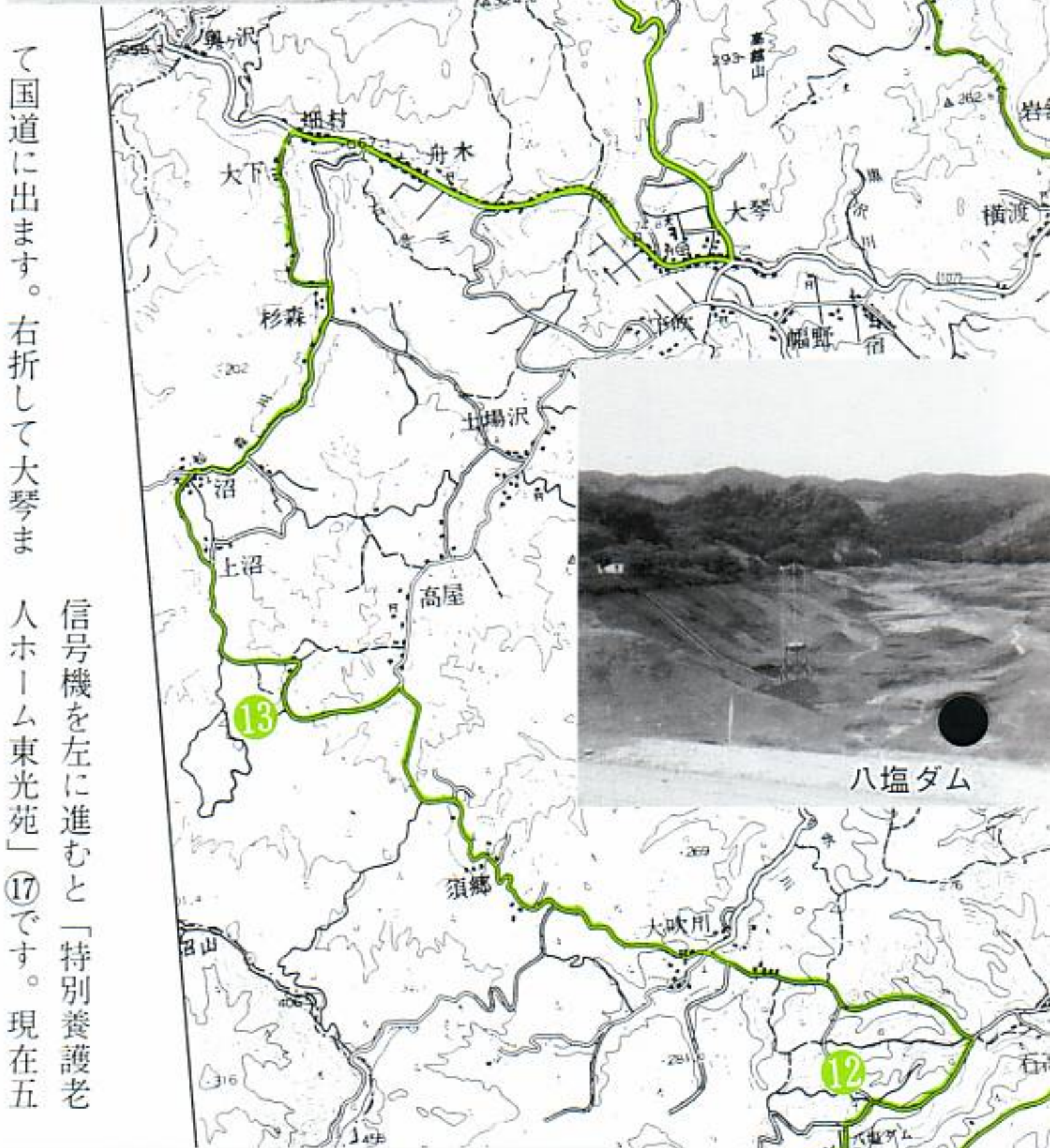
で国道に出ます。右折して大琴まで進み、東由利農協大琴支所付近の十字路を左折、広域基幹農道根小屋線を進みます。そのまま五キロほど進むと、「大台高原」及び「大台団地」⑭です。小休止し、眺望をお楽しみ下さい。高原道路をそのまま大内町方面に進み、境界を右折、若林へ下ります。ここには「若林の湯」⑮があり、入浴ができます（ちなみに入浴料は大人百五十円）。若林から黒沢を通り旧国道に出ます。これを左折し蔵に入り再び左折、法内方面へと向かいます。四キロほど進むと昨年開通した「白沢トンネル」⑯に着きます。トンネルの真ん中が境界となっており、大森町坂部はトンネルを抜けてすぐです。

ユーターンして再び蔵に進み、信号機を左に進むと「特別養護老人ホーム東光苑」⑰です。現在五十人が入居、うち町内の入居者は三十三人となっています。信号機まで戻り左折、二十分先を右折し西山線へと進みます。同線は先ごろ全線の舗装が完成しました。途中左手に「畜産広場」⑱、「育苗センター」⑲などを望んで進みます。町内めぐりの終点は台山です。西山線からライオンセンターに出て左折、「健康増進センター」及び「テニスコート」⑳へと向かいます。ここで、テニスなどに心地良い汗を流してみたいかがでしょうか。さてこの町内めぐりコース、距離は約百十キロ、所要時間は約三時間です（休憩時間含めず）。お弁当またはナベッコの準備をして午前中から、または、お昼ご飯を済

ませ午後から…どちらでもいいと思います。ぜひお出かけください。なお、町内めぐりコースの資料として「町内めぐりガイドブック」を作りました。必要な方は役場窓口にて備えてありますのでご自由にお持ち帰りください。



大台高原



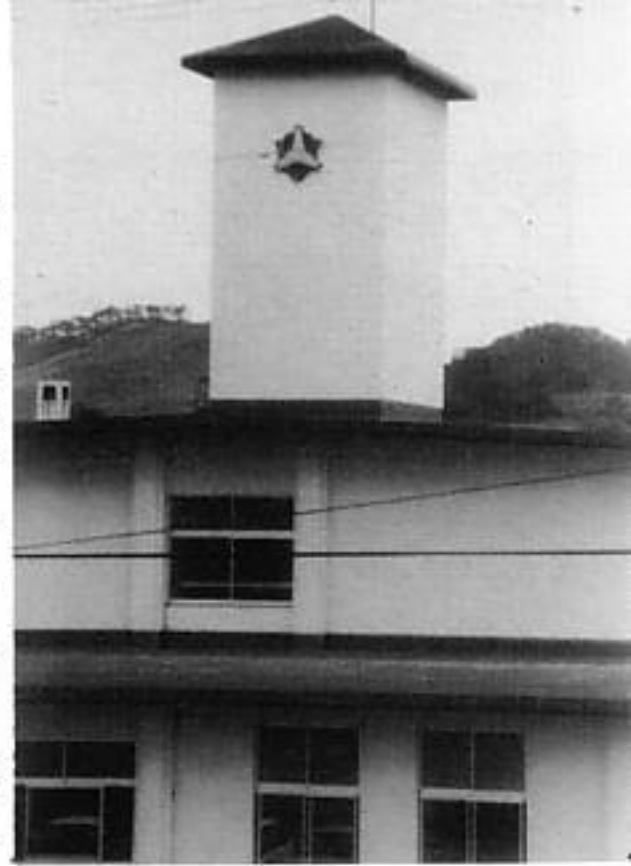
八塩ダム



朴の木沢放牧場



テニスコート



新たな飛躍を期して

大琴小で礎石101年・現校舍落成10周年記念式典を挙

大琴小学校礎石百一年・現校舎落成十周年記念式典が九月十一日同校体育館で開かれ、PTAや在校生、地域住民ら三百人が出席し、礎石百一年などを祝い合うと共に、新たな発展を誓い合いました。

式典では梅津嘉一郎記念事業推進実行委員長が「旧宿、旧袖山小

学校の歴史を正しく知り、両校の歴史的合併の中から新しい伝統を創造していきたい。人間形成と無限の可能性を育てる場として、大琴小学校の飛躍的發展を祈念する」のあいさつに続き、佐々木勝敏校長が「児童数は百名。二百の目と耳を使い、小粒だが山椒の味で、

をモットーに生き生きとした学校生活を送っている。かつての先輩たちが多くの課題を克服し

今日を築いてきたように、英知と情熱を持ち、より充実した大琴小学校の創造に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

このあと来賓として畠山町長が、「学校、家庭、地域の結核と連帯の輪は学校統合の悩みを乗り越え、新しい時代に向けて

出席者を笑いの渦に巻き込んだ学芸発表



広がりを見せている。礎石百一年をステップに、大琴小学校を地域文化の拠点として、更に団結し連帯、融和して新しい伝統を築いてほしい」と祝辞を、児童を代表して六年生の阿部由起子さんが「明るく元気な大琴小学校を築いていくことを誓います」と喜びの言葉を述べ、旧宿、旧袖山、大琴小学校の校歌を全員で合唱し式典を閉じました。

式典に続き学芸発表が行われ、児童が童謡の独唱・斉唱などのほか劇「昔の子供と今の子供」をユーモアたっぷりに演出、式典の出席者を笑いの渦に巻き込みました。また午後からは同会場で祝賀会を開き、出席者は礎石百一年などを

心行くまで祝い合いました。

このほか、同実行委員会では記念事業の一環として、校門の新設や記念誌の発行、遊具の設置などを行いました。また、昨年度から町の継続事業として進めていたグラウンド拡張工事が完成するな

式典と合わせ、施設設備が充実した年にもなりました。

大琴小学校の母校である宿・袖山両小学校は、宿小学校が明治二十年に蔵小学校宿分教室として、袖山小学校が同年館前尋常小学校



記念事業の一環として新設された校門



拡張工事が完成したグラウンド

袖山分校として創立しました。これを礎石に今日まで百一年の歴史が刻まれ、この間、蔵小学校宿分教室は宿尋常小学校（明治25年）、宿国民学校（昭和16年）、宿小学校（同22年）と、館前尋常小学校袖山分校は同田代分校（袖山と田代分校を統合・明治22年）、渕田小学校（田代と渕田分校を統合・同25年）、渕田小学校袖山分教室（同28年）、袖山尋常小学校（同35年）、袖山国民学校（昭和16年）、袖山小学校（同22年）と改称し、昭和五十六年には宿・袖山両小学校の統合により新生大琴小学校が発足、今日に至っています。

礎石以来これまでの卒業生は二千九百八十人となっています。

300人が出席して行われた記念式典

町出身の 高橋氏が講演

高瀬小創立5年をにぎやかに祝う



記念講演する高橋宏幸氏

高瀬小学校 創立五年記念式典が九月十八日同校体育館で、PTAや在校生など四百人が出席して行われました。式典には本町上通出身で絵本作家の高橋宏幸氏（東京都田無市在住・65歳）が特別に出席。「わが人生は高瀬川」と題して記念講演しました。高橋氏は、小さいころの古里での思い出を語りながら、

「これまで幾度か逆境に直面したが、その度に心の支えとなったのは古里の山や川などの情景。決してあたたかいものではないが、私の感情の原点であり、気を沈めてくれる唯一のもの」と古里を絶賛。さらに児童たちには、「自分一人で生きているのではなく、地域の人々の思いやりの中で生きているんだ、ということをお忘れないうでほしい」と呼び掛けました。

このあと同氏の代表作で昨年映



400人が出席して行われた記念式典

われ、合唱や劇、それに全校児童が太鼓に合わせてみこしを担ぐ「高瀬のおまつりだいこ」などが披露されるなど、創立五年をにぎやかに祝いました。また、記念事業の一環としてPTAが手造りで整備した「野外教室」で、用地を無償で提供してくれた木島久雄さん（本荘市）と、元PTA会長の小松悌之助さん（上通）、前PTA会長の遠藤忠平さん（新処）に、大平謙一郎校長から感謝状が贈られました。



児童たちが披露した学芸発表

西山線の舗装完成

町道西山線の舗装がこのほど完成しました。

良工事に着手し、同五十九年に完成、舗装工事が昭和六十一年から年次計画で進められていたもので

す。同沿線には畜産

広場や育苗センター、

新設・改良以来産業

道路として大きな役

割を果たしているほ

か、舗装の完成で現

在中学生の通学路な

どとして大きく貢献

しています。



舗装が完成した町道西山線

町のシンボル 花・木・鳥な募集

ご応募ください。応募内容は次の通りです。

《花・木・鳥の応募方法》

はがきに町のシンボルにふさわ

しい花・木・鳥の名前を書き（例・

花ゆり、木杉、鳥うぐいす）

住所、氏名、年齢を書いて応募し

ます。

《イメージマーク応募方法》

B5版のケント紙に「あきたこ

まちと由利牛の里東由利町」（町

のキャッチフレーズ）をテーマと

したイメージマークを図案化して

描き、住所、氏名、年齢を書いて

封書で応募します。

なお、応募作品の著作権は町に

属させていただきます、原則として作

品はお返ししません。

《募集期間》

十月一日～十月三十一日

《応募先》

東由利町老方字後田七〇の三
東由利町役場企画財政課宛

《賞品等》

花・木・鳥Ⅱ入選者全員に記念

品を贈呈します。

イメージマークⅡ採用作品に賞

金三万円、応募作品に記念品を贈

呈します。

なおイメージ
マークは、案内
板、看板、新聞

広告、各種パンフレット、特産品

のパッケージなど、多角的に応用

していくものです。

◇ 問い合わせ先▼東由利町役場・

企画財政課 六六九・二一一〇

東由利歴史散歩

文・畑山昭二(町史編集室)

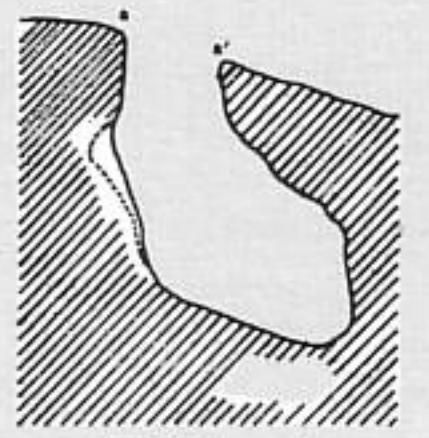
八塩山麓の
ボツメキ遺跡
食糧貯蔵庫?発見される



ボツメキの袋状遺構

ボツメキの名は、町営水道最初の水源池として広く知られるようになりましたが、遺跡としても登録になつていました。昭和四十九年、水源池設置工事にとまなう道路の拡張工事中に縄文土器片が発見され、翌年に町教育委員会が正式に発掘調査を行ったものです。ボツメキ遺跡は、標高七百三十三メートルの八塩山北側の中腹、櫓の多い雑木林の中にあり、周辺は緩斜面になつていて、表面の黒褐色土層と地山の茶褐色土層は安山岩質の礫の含まれた水はけの良い状態の場所です。この遺跡で貴重なのは、袋状のピットの存在が確認されたことです。崖面に現われているピットは、調査時に深さ一・二メートル、奥行き〇・七メートル、入口部径〇・八メートル

と測定、現場の状況から残存しているのは三分の一程度と推定されました。また、ピットの中に入っている埋土から、縄文の施文された少量の土器片と、くるみの殻、石器、木炭片が出土しました。袋状ピットは竪穴住居跡にともなうものが多いと言われますが、埋土の出土した中味からして、食糧の貯蔵穴である要素が強いということです。この遺跡は、町水道の水源となつた豊かで清冽な水を傍らに、八塩山を狩猟と採集の場とした縄文時代後期の人々の生活跡と考えられます。



袋状ピット

さわやかな雰囲気で
感動体験を発表

「豊かな心を育てる
東由利町交流会」

小さな胸に広がる大きな感動——をキャッチフレーズに、町内の小・中学生及び高校生を対象とした、「豊かな心を育てる東由利町交流会」が九月一日東由利中学校を会場に開かれました。

交流会では各学校を代表して小・中・高生十一人が、心に残る人物との出会いや日常生活で深く感銘を受けた出来事などについて発表。会場に集まった児童・生徒など五百人余りの聴衆の胸を打ちました。



11人が日常生活での感動体験を発表

なかでも、佐々木知子さん(大琴小六年)は、東由利簡易水道の水源池であるボツメキ水源地を見学した時の感想を発表。知子さんは、縄文時代の水との係わりをからめて水と人との文化に触れ「水を活用してきた先人の知恵や自然の持つ力を改めて知らされました」と堂々とした態度で発表し、会場から盛大な拍手を浴びました。また今年は感動の輪をより一層広げようと、発表会の前にコーラ

ス、終了後にハーモニカ演奏を鑑賞。町内のコーラスグループ「コスモス」による郷土の偉大な音楽家・小松耕輔作曲「母」、「さみだれ」などの合唱と、ハーモニカ奏者・伊藤正二氏による「浜辺の歌」「ふるさと」などの独奏で、会場はさわやかな雰囲気になりました。発表者には閉会式で賞状と記念品が畑山教育長から贈られました。

話題いっぱい よちかどトピックス

交通安全町民大会で
交通事故
死亡ゼロ 千日を祈願

ダミーマ人形使い事故実験
ゲートボール大会も実施

九月二十五日で「交通事故死亡ゼロ七百日」が達成されたことを記念し、同二十七日健康増進センターで「交通安全町民大会」が行われました。大会に先立ち役場前から有隣館までは高瀬小鼓笛隊を先頭にパレードが、同駐車場では本庄警察署員がダミーマ人形を使った交通事故の実験を行い、集まった参加者に交通事故の恐ろしさを改めて認識させました。



高瀬小鼓笛隊を先頭に役場から有隣館までパレード

大会では、みどり・永慶保育園の両交通安全母の会に表彰状、阿部重助さん(野田)と嶽石徳二郎さん(上通)に感謝状が贈られたほか、小・中学生四人による作文の発表と、児童・生徒、連合青年会、老人クラブの代表による「誓いの言葉」が行われました。このほか、午後からは十チームの参加で交通安全ゲートボール大会が行われるなど「交通事故死亡ゼロ千日」の達成を祈願しました。

ヤングレポート フレッシュマン



斎藤

かず
一くん (19歳)

石高・東邦製作所勤務

「将来は自分で会社を持ちたい」と大きな夢を語る斎藤くん。昨年4月に東邦製作所に勤めて1年半、「会社にもう少し活気がほしい…」と、若さのはけ口を求めています。円満な性格は多くの友だちを持ち、自分でも「人づきあいが好き」と、社交的な面を披露していました。

斎藤くんの部屋には、外車のポスターやミニカーがズラリ。「一日だけでもいいから、ベンツを乗りまわしてみたい」というカーマニアぶりです。

現在、両親と祖母の4人暮らし。「好きなことができるのも今のうち。将来設計をこれから少しずつたてていきたい」とキッパリ話すフレッシュマンでした。

ドウダンツツジと 八重桜を植栽

町緑化推進委員会が
自治宝くじ助成事業で



ドウダンツツジなどが植栽された朋楽荘～東中のがけ地

緑地公園化が進められている台山区一角(朋楽荘～東中のがけ地)に、このほど町緑化推進委員会(長谷山二郎会長)がドウダンツツジ七十六本、八重桜十三本を植栽しました。これは同委員会が(財)自治総合センターの自治宝くじ助成事業により「緑化推進コミュニティ助成事業」として総事業費百二十万九千円(内助成金百万円)で行ったものです。

生涯教育活動への 意欲新たに

「本荘・由利地区生涯学習を進める集い」に、二百余人が参加

郡内で生涯教育を実践している人たちが集まり九月十三日有鄰館で「本荘・由利地区生涯学習を進める集い」が開かれました。

これは、本荘由利地区生涯教育奨励員連絡協議会(石渡力造会長)が、会員の資質の向上、相互の交流などを目的に開いたもので、由利郡内の生涯教育奨励員など二百人余りが参加し、日ごろの奨励活動などについての発表、研究や、

県生涯教育センター・大友康二所長の講演を聞き、生涯教育活動への意欲を新たにしました。

このほか、会場には書画、切り絵、彫刻、写真など二百点余りの、いずれもプロ級の技術とと思われるような素晴らしい作品が展示され参加者の目を奪ったほか、午後は町のコーラス、民謡、踊りなどのサークルによる学習発表が行われ集いを盛り上げました。

献血ありがとう

9月1日
太字は400ml

猪股 寿和	鈴木 隆	工藤 太一	畑山 美喜子	木島 久志	石渡 洋子	小松 和弘	梅津 栄一	佐々木日出夫	遠藤トキヨ	阿部 重樹	嶽石 八郎	鈴木 博
佐々木良博	工藤 昭義	小野 肇	小松 修一	小松 敏子	佐々木喜隆	伊東 健市	須田 敦子	畠山 孝	長谷山友子	遠藤まゆみ	小笠原秋夫	小松 恵治
小松真希子	佐藤美由希	寅田たづ子	小松 みき	畠山トキ子	石渡ふみ子	小松五緒子	阿部志保子	佐藤 芳雄	遠藤 晃	小松 秀穂	小松 和子	阿部 弘章
小野 久隆	木島 一広	畠山 守	渡辺 サキ	伊藤 守	長谷山 栄	小松 重文	佐々木 興	佐藤智和子	古関 和枝	古関 愛子	猪股 友子	高橋ゆき子
(敬称略)	畠山 紀悦	大庭 和子	小沢 末治	小松 仁美	小松 明美	遠藤由美子	横山 昌喜	畠山 節雄	佐藤 賢一	阿部 盛喜	嶽石 文弥	小出 正義

まちかど スナップ



法内地区ゲートボール大会 撮影 (左)・遠藤平輔さん (小倉)

法内分館主催第5回ゲートボール大会が9月15日法内グラウンドで開かれました。今年は法内地区の自治会や老人クラブ、青年会など16チームのほか、白沢トンネルの開通を記念して古くから交流のある大森町坂部と大内町羽広、滝から5チームを招待して行いました。また今年はゲートボールコートが8面とれるようグラウンドも整備。秋の収穫をひかえ和気あいあいの楽しい一日を過ごしました。

町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん



宇戸坂・さとうひろこさん(5さい)

伝承・昔の遊び 7

馬のり遊び

袖山・畠山泰蔵さん



「馬つぶし」「ダダギッキ」ともいったこの遊びは、二組に分かれ、馬組は乗り手を揺り落とそう



絵・石渡力造さん

ふるさとを想う 7

故郷は「心の支え」

千葉県木更津市 梅津潤二さん(50歳・大塚出身)



見知らぬ当地で事業を始めてから三十二年。地元の温かい人情と環境に恵まれ、一昨年には二十年の式典を、木更津市長、県議、市議はじめ大勢のご臨席を賜わり盛會に挙行することができました。



これも私を育んでくれた故郷の陰といつも感謝しております。

さて当地木更津市では、東京湾横断道路をはじめ三本の幹線道路整備が昭和六十八年度の完成を目指し始動、完成後は四国大橋を大きく凌ぐ経済効果が期待されています。しかし発展を期待する反面、急激な都会化に一抹のさみしさを感じています。また、日進月歩に発展を遂げる都会の中にたえずいると、時として我を失ってしまふことも...そんなときに思い起こすのが、「豊かな緑と温かい人情に包まれた故郷」の情景です。故郷は私の大きな心の支えです。

とし、乗り手はドシンと乱暴に乗って馬をつぶそうとする遊びです。馬組がつぶされると、もう一度馬にならなければならぬなど、所によってこの馬のりには色々な遊び方があったようです。秋の夕焼けを背に、ガキ大将を先頭にして野や山をかけ回り、夕闇がつつむころ、ほころびだらけで家に帰ると、きまつてゴケラれたものです。

ものしり家庭版 7

知っていると便利、くらしの豆知識

小さな落とし物は 電気掃除機で 素早くキャッチ

じゅうたんやカーペットを敷いてある部屋で、小さな落とし物をした時は、探すのにひと苦勞しますね。画びょう、ヘアピン、コンタクトレンズなど、踏みつけたら大変。毛足の長い敷物では、なおさらです。こういう場合、電気掃除機を使えば手軽に落とし物を発見できます。各種アタッチメントやノズルを外したホースの先端に、ナイロンストッキングを輪ゴムで取り付けます。このとき、ナイロ

ンストッキングに、こぶし大のたるみを持たせておくのがポイントです。

吸引力を調節できる掃除機なら「弱」にして、目星をつけた場所でも吸い込んでみましょう。ナイロンストッキングが網の袋状になって、手早く落とし物がキャッチできます。



健康ライフ

マイコプラズマ肺炎

指導・小松医院・小松良竹先生



本症は、三〜五年周期で流行し年齢五〜三十歳位に好発します。約三週間の潜伏期間後、せき、たん、のどの痛み、熱が始まり、殊にせきは頑固で長く続くのが特徴です。診断(胸部X線撮影で特徴的に陰影を認める)さえつければ、エリスロマイシンの内服やテトラサイクリン系の抗生物質で容易に治療できます。

せきが長引くと思ったら、「風邪をこじらせた」などと素人判断をすることなく、早めに医師の診断を受けてください。

How to cooking

脱気・殺菌がポイント



正月のきんとん用に
秋の出盛りに用意

栗の甘露煮
下通・島山ツキさん

わが家の自慢料理

- 〔材料〕栗(皮をむいて六〇〇グラム)
・焼きみょうばん大さじ一・くちなしの実一〜二個・砂糖三五〇グラム
びん詰め用シロップ
砂糖二五〇グラム・水カップ二・保存びん(四五〇ミリ二本)
- 〔作り方〕
①栗は湯に二十〜三十分つけ皮を柔らかくし、鬼皮と渋皮をむく。
②焼きみょうばんを水約三カップで溶かしたものに栗を入れる。三十分以上おき、栗をよく洗う。
③なべに栗がひたるくらいの水と、くちなしの実を半分につけて入れ、黄色い色が出るまでつけておく。
④よく洗ったなべに栗を入れ、③のつけ汁を注いで火にかける。沸騰までは強火、後は弱火で栗が黄金色になるまでゆで、くちなしの実を取り除く。
⑤水をかえながら洗ってざるにとり、水気を切る。
⑥なべに栗、砂糖、ひたるくらいの水を入れ、紙ふたをする。沸騰までは強火、後は弱火で煮る。
⑦消毒(煮る)したびんに栗を入れる。砂糖と水を煮溶かし、熱いうちにびんの肩口まで注ぐ。
⑧軽くふたを閉め、蒸気のたった蒸し器で約十五分蒸し脱気する。すぐにふたをきっちり閉める。
⑨びんの高さの半分まで熱湯を注ぎ、蒸し器にふたをして約二十分煮込み殺菌する。
⑩びんを蒸し器から取り出し熱くなくなるまで放置し、ふたをギツシリ閉め、保存する。



子からホンネ本音親から

高瀬小四年
佐藤隆介くん

ぼくは、まず一番に言いたいことは、おこずかいをふやしてほしいことです。そのわけは、ためて好きな物を買いたいからです。どうかおねがいします。それから、勉強はちゃんとするので、「勉強できたか」「早く勉強せ」とか、言わないでください。それと、犬のせわのこともでも、「さんぼしろ」とか、うるさく言わないでほしいと思います。さいごに、どっかへ遊びにつれて行って…おねがいします。



上通
佐藤厚子さん

おこづかいは今で十分だと思うけど、自分で使い方を考えればいくらでもたまると思うよ。前よりはうるさく言わないつもりだけど、まだ少しうるさいかな。それから、犬の世話ほ妹のほうがよくやっているとと思うけど、どうかな。
こんどは、お母さんから一言：今やらなければならぬことは、自分から進んで最後までやりとげる人になってほしいです。これから、お母さんも一緒に外に出て遊びたいと思います。

みんなの健康

ウォーキングタイムを！

暮らしの中に

ウォーキングタイムを！

スピード社会の昨今では、勤め先や田畑にも車やバイクを利用し歩くことが少なく、仕事や家事で体を動かす機会も少なくなっています。その動かなすぎが、かえって疲労感を助長します。
体力年齢を若く保つためにも運動習慣を身につけることが大切ですが、最近、歩く健康法が見直され、愛育班の会議や健康相談、または家庭訪問先で、歩くことの効用、運動の継続による体談をよく耳にするようになりました。



飽食の時代といわれる現代は、一日にとる食事からの摂取エネルギーが三百キカロリも越えているといわれます。一日一万歩は三百キカロリを消費するために必要な運動量です。歩くことにより足腰が鍛えられ、脳の働きを活発にし、高血圧症や糖尿病の改善、肥満、ストレス、不眠、便秘などを解消します。仕事や家事に追われる中で、楽しみながら、自分のペースで歩いてみませんか。
(保健婦・伊東志津子)

東由利の文芸

ゆりかご句会八月句会から

◆車曳く残暑の牛ののたりめく
小松鉄太郎(下通)

◆初秋のまだまだ歩巾広げんと
小松慶治郎(高戸屋)

◆出揃ふ稲田の風や吸刈る
鈴木徳蔵(舟木)

◆白萩の静かに揺れて茶庵かな
菊地常作(湯出野)

◆糸通す針の向うに初秋が
遠藤モトミ(新処)

◆新秋や荒野に一輪花桔梗
遠藤トミ子(小倉)

初孫です

新町・小松末佳ちゃん・11カ月
与悦さんと真由美さんの長女



おばあちゃん・レイコさんの一言「小さいけれど、人一倍元気な子です。みんなに愛され、かわいがられる女の子になってくださいネ」

善意

町社会福祉協議会に、ご芳志として佐々木宗雄さん（大琴）から金一封が届けられました。
ありがとうございます。

戸籍だより

（8/21～9/20届出・敬称略）

●お誕生おめでとう

小番 達裕（正裕 二男）家ノ下

小松 里衣（慶悦 二女）須郷田

鈴木 謙太（一廣 三男）大琴

小松 寿子（建一 二女）山崎

●ご結婚おめでとう

高橋 一心（五海保）
佐藤由喜江（地下ノ沢）
畠山 孝（袖山）
小野 智子（上里）

●ごめい福をお祈りします

高橋松三郎（81・チヨエ・夫）館新田
佐々木ミネ（101・宗雄・母）大琴



悩みごと 何でも相談

【相談】家のおじいさんの具合が悪くなって、寝たきりになってしまいました。食欲もあり元気ですが、風呂に入れるのが大変で、家族総がかりです。東光苑で入れてくれると聞きましたが…

【対応】条件により、東光苑で月二回ほど入浴することが出来ます。寝たまま運べる東光苑の専用リフト車が送り迎えし、食事サービスもあります。条件とは、おおむね六十五歳以上で、医師の入浴許可をもらえること。利用料は前年度の所得税をもとに決められます。希望者は役場民生係へ。
（町心配ごと相談所）

編集室から

▼町一番の長寿者で、今年四月百一歳を迎えられた佐々木ミネさん（大琴）が、八月三十日自宅で急逝されました。ご逝去を悼み、慎んでご冥福をお祈りいたします。▼「町勢要覧'88」が出来上がり、九月十七日全戸に配布しました。見ていただけたでしょうか。すでにたくさんの方から感想等を寄せていただき、次期発行に向け反省点などを整理しているところです。この要覧は今後四年間、町のPR用に使っていくものです。ご意見などを、ぜひ広報担当までお聞かせください。



郷土の野草

文・写真 小松忠正

43

ジャコウソウ

（クチビルバナ科）

初秋のころ、尾花がゆれる山道を歩いていくと、淡い紅紫色の筒形の唇形花を葉腋に二、三個つけて、誇らしげに咲いているこの花に出会います。山中のやや樹陰に多い多年生の草で、高さは一メートル位、茎は方形で、葉は長楕円形で先がとがり、あらい鋸歯があらって対生します。和名は、この茎葉を動かすとよい香りがするというのでつけられたもので、高山植物にこれと似たイブキジャコウソウがあります。小形です。

9月★町のミニ統計

●人口（ ）は前月比

●男 2、935人（△2）

●女 3、063人（△9）

●計 5、998人（△11）

●世帯数1、442戸（△3）

（ ）は1月からの累計

●出生4人（36）●死亡5人（43）

（8/1～8/31）

●転入9人（68）●転出21人（136）

●結婚0人（8）●離婚0人（0）

●火災0件（2）●救急車出動6件（63）●ごみ処理量50t（221）

●交通事故0件（11）●死者0人（0）●傷者2人（16）●飲酒運転1人（1）●酒気帯び3人（3）

5・インフルエンザ（八塩小・みどり保育園）

7・（高瀬小）

12・（永慶保育園）

14・（大琴小）

19・（東由利中）

6・心配ごと相談所（朋楽荘）

町民カレンダー

ピックアップ



心配ごと相談所が十月六日（木）と十月二十日、午後一時半から三時まで朋楽荘に開設されます。

生計問題、家族関係、健康医療問題、結婚・離婚問題、財産関係、青少年問題、老人福祉などについて専門の相談員が、親切に応じます。自分一人で悩まずに、お気軽にお出かけください。

13・ことぶき大学移動研修（一班）

20・（二班）

20・心配ごと相談所（朋楽荘）

17・子宮がん検診（老方館）

24・（大蔵館）

21・三種混合予防接種（有隣館）

23・ふるさとウォークラリー



40歳からの健康週間
（10月10日～16日）

25・4ヵ月クリニック（保健所）

29・30・町産業文化祭（有隣館他）